

## 2 目標達成計画

作成日: 平成23年6月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		毎日の余暇活動や日常生活で、現在の身体能力や趣味を生かした余暇活動が出来るように環境を整える。	入居者同士、良い友好関係が築け、生活の中に楽しみや生きがいを持てるようになる。	・カラオケが好きな方が多いので、カラオケが歌える機会を作ったり、畑や花をいじる事が好きな方には土いじりが出来るように、一人ひとりの要望や思いを汲み取り、反映していく。	3か月
2		室内の温度調節を行い、快適な日常生活が送れるよう整備していく。	快適な空間作りを図る。	・窓の開放などをこまめに行い、冷暖房を完備するなどして適度な温度調節をしていく。	1か月
3		地域との交流活動を増やす。	グループホームへの理解を深め、地域に貢献できるよう、地域との交流活動機会を増やす。	・ホーム内の行事には地域の方に呼びかけたり、家族の方に遊びにきてもらう等、交流を図る。 ・地域の行事に参加する。 ・各種他団体等との交流を増やす。	3か月
4		介護員のスキルアップに取り組む。	介護員一人ひとりが自覚を持って、技術レベルの向上を図る。	・介護員一人ひとりを、年1回以上、計画的に研修へ派遣する。 ・ホーム内での内部研修の実施。 ・専門図書の充実を図る。 ・コミュニケーション能力アップを図る。	12か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。